

さんぽく互近所ささえ～る隊 R5年度活動報告



2024年3月7日（木）

さんぽく互近所ささえ～る隊 隊長
NPOおたすけさんぽく
本間 薫

R5年度 活動目標

- 1 集落の課題把握のため、住民からの声を聞き取り
地域の茶の間や助け合いの仕組みづくりにつなげる
- 2 ほか団体との、連携や情報交換を図りながら
移動・買い物支援などを考える
- 3 集落訪問時や講座等の開催をとおして
「ささえ～る隊の活動」と「助け合い活動」の
周知をはかる

R5年度 活動のポイント

① 住民からの声を集落に反映させよう

集落訪問で聞き取った個人からの困りごとを集落代表者へ伝え

集落全体の課題として考えてもらおう

② 他団体と協働できるところを考えよう

まちづくり協議会等と活動内容を共有し、一緒にできる活動を考えよう

③ 山北地区のささえあい社会資源を住民に伝えよう

PRチラシをリニューアルして、ささえあいの大切さを周知しよう

懇談会の開催支援

【目的・概要】

集落への訪問や聞き取り調査で聞かれた住民からの意見を
集落の代表者や関係各所へつなげることで、
不安が解決できるよう支援

【開催実績】 2集落（中浜・小俣）で実施

* 中浜集落

「豪雨災害時に怖い思いをした」との意見を元に、

【老人クラブが災害時にできること】についてグループワークを開催

* 小俣集落では「日常の買い物が大変」との意見を元に支え合いの1つとしてボランティアタクシー（実証実験事業）集落説明会を開催

【感想】

たった一人の声だとしても、諦めず支援を続けることで、良いことにつながる。中浜でのできごとは、水害ゆえに聞き逃せなかったということもあるが、不安の解消にとどまらず、その後の集落活動への活気につながったと、住民から嬉しい声も届いています。

地道に集落へ。やはり解決のヒントは現場にある、なのでしょう。



中浜集落老人クラブ懇談会（R5.10.1）



小俣集落ボランティアタクシー説明会（R5.10.26）

他団体との連携

【目的・概況】

まちづくり協議会と一緒に、山北地区の状況を情報共有する機会を作り、協働できることを探りながら、お互いの事業が有効に実施できるようにする。

【開催実績】

- * 集落支援員との定期ミーティング（毎月1回）
- * 買い物ツアー実行委員会への参画
 - ・ 新公共交通 乗車買い物体験会へ参加
 - ・ ボランティアタクシー周知協力
 - ・ 新公共交通 集落説明会へ参加

【感想】

特に、SCとまちづくり協議会は、集落・高齢者・若者・地域と、共通するキーワードのもと活動することが多い。ただでさえ不便で人材不足の山北地区なので、協働して悪いわけがない！ 協力・連携の形、模索をしながらもとにかく実施して、推進していく必要があります



乗車体験会・買い物体験会（R5. 10.18）



ボランティアタクシー説明会（R5.10.19）

新公共交通説明会（R5.9.6）

ささえあいカタログの作成

【目的】

「困ったな」という時に、頼れる「山北地区のやさしさカタログ」ともいえるような、ささえあい事業や活動を紹介する冊子。SC+ほか団体と協働でリニューアルし、地域住民への周知と、ささえあい意識の充実を図る。

【内容】

- * ささえ～る隊の活動紹介
- * 山北地区の社会資源掲載（移動、集い、買い物、生活、健康）
- * R6年10月完成予定

【効果】

「こんな活動やサービス、支援があったんだ」という気づきと周知。保存版のささえあいカタログに

山北ささえあいガイドブック (表紙)



このカタログには、皆さんがこれからもずっと山北で生活するために必要な助け合いが掲載されています。ちょっと困った際にご活用ください。

① 名称：さんぽく互近所ささえ～る隊 《集落の困りごと相談全般》
内容：皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための「近所同士の助け合い」や「地域の集いの場」など「支えあいの仕組みづくり」をお手伝いします。
構成メンバー：まちづくり協議会、社会福祉協議会、山北商工会、山北徳洲会病院、ゆり花園、集落総代、民生児童委員、新潟交通観光バス、買い物支援ボランティア、公民館運営委員
場所：村上市山北支所地域振興課地域福祉室
問い合わせ先：77-3113



【お問い合わせ】 村上市山北支所地域振興課地域福祉室 77-3113
問い合わせ時間 平日9:00～16:00
【発行】 さんぽく互近所ささえ～る隊 令和6年10月1日
毎月8日は「さんぽくささえあいの日」～ささえあいを意識してみる日～

さんぽくささえあいカタログ（原案）

一年を振り返って

- * どんな小さな声も、拾って、つなげる
- * 若者や子育て世代に向け、ささえあいを推進し、未来へつなぐことが大切
- * 人手は貴重。他団体との協働、とにかく実践あるのみ！